

私と国有林

森林教室に参加して

埼玉県ときがわ町立玉川小学校 教頭 奥村一博

人と自然の優しさに溢れるときがわ町は、埼玉県の西部丘陵地域に位置し、町名にもなっている清流「都幾川」は、町を西から東に貫き青い石の奇岩「三波溪谷」を洗いながら流れています。また、1,300年の歴史を誇る名刹「慈光寺」は、鎌倉時代に源頼朝の寄進を受けて栄えた寺です。



森林のはなし

授業では、「植物の光合成と二酸化炭素・酸素の関係」や「地球上の多くの生き物と水や空気の関係」などを理科で学びます。今回、慈光寺の奥に広がる国有林で開催された埼玉森林管理事務所による森林教室に

6年生55名が参加し、森林という現地で生きた学習することができ、子どもたちも多くのことを学び、成果がありました。



貯金箱作り

森林教室に参加した児童の感想文を「国際森林年記念 第15回森林は友達！作文コンクール」に応募し、努力賞を受賞した作品を紹介します。

『森林教室に参加して』

玉川小・6年 栗本 沙羅

私は今回、森林教室に参加して学び、心に残った思い出を二つ紹介します。

一つめは、竹の貯金箱を作ったことです。まずごく分厚い竹を切りします。直径は12・4センチでビックリしました。切るのに3分ほどかかり、ごく手が痛かったです。次にお金を入れる口を作り、それなりにかわいくてよかったです。



丸太切り体験

二つめは、農林水産省の方などから教えてもらったお話です。木は人工林と自然にできた林の二つに分かれています。人工林を作る理由は、私たち人間が木を使い様々なものを作ることで林が狭くなった、木が減って、この地球の自然が減ってきています。それで人工林を作っているのです。

慈光寺の人工林は、木を増やすことだけではなくもう一つ役割があります。それは、土砂災害を防ぐことです。わざと急な崖に木を植えることで、土砂から人を守ることができ

(中略)

私は、この森林教室に参加し、普段体験できないような体験ができてすごくよかったです。改めて自然の大切さを知ることができました。この体験を活かして何かに役立てることができればいいと思いました。』

また、他の児童の一部を紹介します。

『森林は、水をきれいにしてくれたり、養分をいっばい含んでいたたり、新しい酸素を出してくれたり等、い

ろいろなところで私たちの生活に関係しているんだなと言うことがわかりました。 6年 福田 深涼』

『丸太切りです。慣れないのこぎりで切るのはとても難しかったです。切った丸太は、ひもを通してストラップにしました。すごく楽しかったです。 6年 中島 紗英』

教室から出て豊かな森へ出向き、森林の役割や木の利用等について体験を通して学習してきました。ときがわ町の小中学校の校舎や体育館の内部は、全て木質化され快適な学習環境が整っています。また、町の産業としても木材を使った「建具作り」が盛んです。町の将来を考えたとき、森林の大切さを改めて実感する素晴らしい体験学習でした。